

令和 4 年 第 1 回 臨 時 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開催日	令和4年3月23日(水)	
2 開催場所	市役所東庁舎本会議用控室	
3 出席した委員	教 育 長 中 川 宣 芳 委 員 山 田 周 司 委 員 伊 藤 和 子 委 員 加 藤 由 美 委 員 河 内 光	
4 欠席した委員	なし	
5 説明のため に出席した 職員	教 育 部 長 伊 藤 武 志 教 育 部 次 長 石 川 徹 こども未来部次長 櫻 井 克 匡 学 校 教 育 課 長 堀 田 正 二 <small>学校教育課指導主事兼学校教育ICT推進室主幹</small> 塚 本 真 也 こども政策課長 伊 藤 加 代 子	こども未来部長 鍛治屋 勉 健康生きがい支え合い推進部次長 江 口 幸 全 教育総務課長 小 川 正 夫 学校教育課管理指導主事兼主幹 加 藤 和 昭 学校教育 ICT 推進室長 櫻 井 晃 生 教育総務課庶務係長 林 孝 政
6 本委員会書記	教育総務課庶務係主査 遠 山 史 織	教育総務課庶務係主査 山 田 晶 尚
7 議題	議案第15号 事務局職員の任免について 議案第16号 学校その他の教育機関の職員の任免について 議案第17号 小牧市教育振興基本計画の改定について 議案第18号 第2次小牧市学校教育ICT推進計画の策定について	
8 報告及び連 絡事項	報告第 1号 事務局職員の人事案件について	

<開会 午後3時00分>

公開会議

○教育長（中川宣芳）

それでは、ただいまより令和4年第1回臨時教育委員会を開催いたします。

初めに教育長報告ですが、本日は臨時会でありますので、教育長報告は省かせていただきます。

次に、部長報告をお願いいたします。

伊藤教育部長。

○教育部長（伊藤武志）

本日お願いをしております議案第15号、議案第16号及び報告第1号につきましては、人事に関する案件でありますので、最後に非公開にて、ご審議等いただきますよう、お願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいまの部長報告でございました、議案第15号、議案第16号及び報告第1号につきましては、人事に関する案件でありますので、後ほど非公開にて審議し、報告を受けることに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、議案第15号、議案第16号及び報告第1号は、後ほど非公開にて行います。早速ですが、議題に入ります。

まず、議案第17号「小牧市教育振興基本計画の改定について」、事務局の説明を求めます。

石川教育部次長。

○教育部次長（石川徹）

ただいま議題となりました議案第17号につきまして、ご説明を申し上げます。

3ページをお願いいたします。

議案第17号「小牧市教育振興基本計画の改定について」であります。

この案の提出理由であります、小牧市教育振興基本計画を改定するため必要があるからであります。

小牧市教育振興基本計画の改定につきましては、3月10日開催の令和4年第3回定例教育委員会において可決をいただいております。

しかしながら、パブリックコメントを実施した際、メールフォームで提出された3名分の意見が、広報広聴課のシステム設定に誤りがあったために教育総務課に届いていなかったことが3月16日に発覚しました。

このため、追加のご意見を含めて、計画改定について改めて適切な手順を踏み直し、再度教育委員会に附議させていただくものです。

パブリックコメントでご意見をくださった方、また、計画の改定にご協力をいただききました皆様方に大変なご迷惑をおかけすることになり、深くお詫び申し上げます。

追加のご意見を踏まえたパブリックコメントの実施結果につきましては、別冊1の後ろに添付しております参考資料をご覧ください。

右肩に参考とある「パブリックコメント実施結果」という資料でございます。

意見募集の結果、4名の方から10件のご意見をいただきました。追加でいただいたご意見は、A4の横の表の8番から10番です。

いただいたご意見に対する市の考え方は、表の右側に記載のとおりでございます。

この実施結果につきましては、4月1日号広報こまきにおいて訂正記事を掲載する他、市ホームページ、教育総務課、情報公開コーナー、各市民センター・図書室で、4月1日から公表いたします。

資料をお戻りいただきまして、別冊1をご覧ください。

小牧市教育大綱と小牧市教育振興基本計画であります。

市長部局が策定します小牧市教育大綱との合冊にて製本しますが、今回の見直しで改定を行うのは、教育振興基本計画のみでございます。

3月10日の定例教育委員会で附議したものからの変更点ですが、88ページをお願いします。

「(2) 中間見直し時策定の経過」のところ、パブリックコメントの追加意見を踏まえ、再度改定案をご確認いただくため、3月17日に第3回小牧市教育振興基本計画調査検討委員会を、3月18日に第4回小牧市教育振興基本計画推進会議をそれぞれ開催しましたので、それらを追加しております。

その他に変更した所はございません。

以上で説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明がありました議案第17号について、ご質問等があれば、お受けいたします。

はい、山田委員。

○委員（山田周司）

児童クラブについてですが、教員経験者であれば、この意見のように思うのではないですか。やはり勉強を教えるはいけないのでしょうか。

○教育長（中川宣芳）

伊藤こども政策課長。

○こども政策課長（伊藤加代子）

児童クラブの職員は、すべて会計年度任用職員であり、保育をするために雇用をしています。また、職員の経歴や資格は様々であり、勉強を教えられる職員とそうではない職員

がいます。現状では職員によって対応に差が出てしまうこともあり、積極的な学習支援は行わないこととしています。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

他にございますか。

（発言なし）

それでは、議案第17号「小牧市教育振興基本計画の改定について」につきましては、原案どおり可決することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議がないようですので、議案第17号については、原案どおり可決することといたします。

次に、議案第18号「第2次小牧市学校教育ICT推進計画の策定について」、事務局の説明を求めます。

石川教育部次長。

○教育部次長（石川徹）

ただいま議題となりました議案第18号につきまして、ご説明いたします。

4ページをお願いいたします。

議案第18号「第2次小牧市学校教育ICT推進計画の策定について」であります。

この案を提出いたしますのは、学校教育における情報化の基本方針を定めるため必要があるからであります。

別冊2とあります「第2次小牧市学校教育ICT推進計画」の1ページをお願いいたします。

この計画につきましては、学校教育における情報化の基本的な考え方と進めるべき方向性について、市・教育委員会・学校の共通のビジョンとして、平成31年2月に策定したものであります。

今年度は、3年間の計画期間の最終年度となるため見直しを行い、次期計画につきましては、上位計画であります「小牧市教育振興基本計画」と合わせまして、計画期間を5年間とする第2次計画を策定するものであります。

計画策定にあたりましては、ICT検討委員会と小牧市情報教育ICT推進委員会のご意見等を踏まえて、策定作業を進めてまいりました。

3ページをお願いいたします。本計画の取組みにおけるSDGsの位置付けについて記載しました。

計画期間といたしましては、先ほども申し上げましたとおり、上位計画であります「小牧市教育振興基本計画」と合わせまして、令和4年度～8年度の5年間といたしました。

3～5ページには国・県の動向について、6～25ページには小牧市の現状と課題とし

て、臨時休校における取組み、児童生徒・保護者・教員アンケート結果、家庭内のICT環境などについて記載しております。

次に、26ページをお願いいたします。本計画の目指す姿につきましては、ページの下の部分ではありますが、第1次計画で定めました「時代を切り拓くこども」を継続していきます。

その項目について1から5までありますが、このうち現行計画では「2. 情報を読み解く力」になっておりますのを「情報を取捨選択し、読み解く力」に見直しいたしました。

続きまして、27ページをお願いいたします。

基本方針であります。現行計画の4つの基本方針に、新たに4つ加え、8つの基本方針といたします。

新たに加える方針につきましては、「情報モラルの育成」、「校務事務における活用」、「クラウドサービスの利用を前提としたICT環境の整備」、「非常時・緊急時におけるICTの活用」であります。

43ページをお願いいたします。

計画の進捗管理につきましては、小牧市情報教育ICT推進委員会において各年度の取組みの進捗状況を確認し、ご意見をいただき、改善し、継続的な市内部・外部の視点により進捗管理を行ってまいります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明がありました議案第18号について、ご質問等があればお受けいたします。加藤委員。

○委員（加藤由美）

ICT推進計画の実態調査の数値で2点お尋ねしたいと思います。

1点目は、11ページの「授業中にICTを活用して指導する能力」について平成30年の調査では82.5%となっていました。73.6%に下がっているのは、なぜですか。

2点目は、15ページの「ローマ字でキーボード入力ができると感じている児童生徒の割合」で、小中学校の差があまりありませんが、どのように分析されていますか。

○教育長（中川宣芳）

塚本真也学校教育ICT推進室主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹兼学校教育ICT推進室主幹（塚本真也）

授業中のICT活用能力につきましては、GIGAスクール構想で児童生徒に1人1台端末を整備した直後であり、新しい端末の活用に対する自信なさが数値に表れたと考えられます。

また、キーボード入力がスムーズにできていると感じている割合につきましては、タブレット端末が授業に取り入れられたことにより、特に小学校が高くなっていると考えられます。中学校の割合がもう少しあってもよいと思うのですが、授業の実施には支障をきたしていません。

○委員（加藤由美）

キーボード入力についての割合は、子どもたちのスムーズに入力できる判断の基準が違うということでしょうか。

○学校教育課指導主事兼主幹兼学校教育ICT推進室主幹（塚本真也）

はい。

○委員（加藤由美）

授業中にICTを活用して指導する能力は、GIGAスクール構想により、ICTの活用の幅が広がったことで十分に活用できていないと思われるということですね。

○教育長（中川宣芳）

他にございますか。

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

ICT推進計画の16ページの保護者の項目で、中学校の割合が低いので、不安になっている保護者が多いのではないのでしょうか。状況が分からないと不安が膨らみやすいので、活用状況の情報を発信して取り除いた方がよいと思います。

授業参観で、実際に授業でのお子さんの様子やタブレットの活用状況を見れば、不安がなくなると思います。私も学校訪問で授業を見せていただいた後、随分気持ちが落ち着きましたので。

○教育長（中川宣芳）

塚本真也学校教育ICT推進室主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹兼学校教育ICT推進室主幹（塚本真也）

保護者への情報発信は、スピード感が大事だと思っております。特にネットトラブルやセキュリティへの不安が高いと感じておりまして、ICT新聞などを通して現状の課題を伝えるようにしております。

また、タブレット端末の活用ルールを学校ごとに作成しておりますが、この活用ルールは常に見直しを進めていく必要があると思います。その際、子どもたち自身がルールの見直しに直接関わっていくことで、本当に必要な活用ルールになっていくと考えています。

○委員（伊藤和子）

セキュリティやトラブルのことはもちろんなのですが、保護者は、ICT教育がどのように授業に反映されているのか、子どもたちが理解しているのか、分からないという不安があると思います。こうした不安にスピード感をもって対処する努力が必要だと思います。

世の中がこういう状況なので、現場が大変ということも理解はしていますが、保護者の皆さんにも実際の現場を見ていただければ良いと思います。

○教育長（中川宣芳）

塚本真也学校教育 I C T 推進室主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹兼学校教育 I C T 推進室主幹（塚本真也）

そういった不安にもスピード感をもって対処していきます。

○教育長（中川宣芳）

山田委員。

○委員（山田周司）

タブレット端末は、中学校ではどのように活用されていますか。

小学校では皆で話し合うような使い方に対して、中学校では生徒が単独で使うことが多いので、中学校の保護者の方がどのように活用されているのか分からないのではないのでしょうか。

○教育長（中川宣芳）

塚本真也学校教育 I C T 推進室主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹兼学校教育 I C T 推進室主幹（塚本真也）

小学校に比べて、中学校では「個別最適な学び」としての活用が多くなることは十分考えられますが、「協働的な学び」も少なからずあります。いずれにしても、保護者の不安を解消できるよう学校からも情報発信をしていきます。

○教育長（中川宣芳）

他にございますか。

加藤委員。

○委員（加藤由美）

I C T 推進計画の 2 1 ページの「I C T 機器を利用しにくいと感じる理由」に、I C T 機器の不具合が中学校で多くなっていますが、機器そのものの故障でしょうか。どのような原因が多いのでしょうか。

○教育長（中川宣芳）

塚本真也学校教育 I C T 推進室主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹兼学校教育 I C T 推進室主幹（塚本真也）

ネットワークによる不具合が多いです。大規模校になりますと、ネットワークの負荷が大きくなり、アクセスポイントに集中することになります。

このような不具合に対しては、サポート業者を通して対応しております。

また、アプリケーションの不具合も件数にカウントされております。

○委員（加藤由美）

不具合が起きると、授業が止まってしまいますよね。そうすると子どもたちの意欲が途

切れてしまうことにもなりかねません。個人的にはICT支援員の増員も必要ではないかとは思いますが、改善できるようにお願いします。

○教育長（中川宣芳）

塚本真也学校教育ICT推進室主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹兼学校教育ICT推進室主幹（塚本真也）

授業では、サポート業者やICT支援員とも協力して対応してまいります。

○教育長（中川宣芳）

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

同じく21ページのグラフでICT機器を利用しにくいと感じる理由に、「分からない、わからない、時間がない、わからない」というようにネガティブなものが多く並んでいるので、とても驚いたのですが、このような意見に対しての対策や議論はできていますか。

○教育長（中川宣芳）

塚本真也学校教育ICT推進室主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹兼学校教育ICT推進室主幹（塚本真也）

機器もソフトウェアも新しいものに対しては不安を抱えるものですが、ICT支援員の協力や研修など市全体で支援している段階ですので、利用しにくい状況はこれから少しずつ減っていくと思います。

○委員（伊藤和子）

次のアンケートの時には、件数が減っているとよいですね。

○教育長（中川宣芳）

他にございますか。

よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、議案第18号「第2次小牧市学校教育ICT推進計画の策定について」は、原案どおり可決することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、議案第18号については、原案どおり可決することといたします。

他にご発言はありませんか。

（発言なし）

他にご発言もないようですので、ここで公開による会議を終了いたします。

関係者以外は退室してください。

——関係者以外退室——

○教育長（中川宣芳）

それでは、これより非公開の会議を開会します。

<開会 午後3時36分>

——非公開会議——

<閉会 午後3時45分>

○教育長（中川宣芳）

他にございませんか。

（発言なし）

他にご発言もないようですので、令和4年第1回臨時教育委員会を閉会といたします。

<閉会 午後3時46分>

署 名 欄

教育長

委員

委員

委員

委員

作成職員